

アジア通信第十回 アジアの街角に見る超高額商品消費事情

山田ビジネスコンサルティング(株)

アジア事業本部

その国・地域の豊かさをはかる代表的な経済指標は一人当たり GDP です。この指標によれば、アジア各国のほとんどが、日本よりはるかに貧しいということになっています。例えば、中国の一人当たり GDP は約 5,400USドル、ベトナムは約 1,300USドルに対して、日本は約 46,000USドルです。しかしながら、指標上は貧しいとされる国にも超高額商品の消費は存在しますし、シンガポールのように豊かな国(一人当たり GDP は約 49,000USドル¹)では言わずもがなです。

以下にアジアの街角で見ると超高額商品消費事情を幾つかご紹介いたします。

1. 携帯電話



VERTU 上海 IFC 店舗
2012 年 2 月筆者撮影

写真は、上海の IFC というショッピングセンターに入っている VERTU(ヴァーチュ)というブランドの携帯電話の店舗です。VERTU はノキアの 100%子会社のようなようです。

VERTU 携帯の特徴は際だって高いことです。上海 IFC の店頭で最も高かった機種は 1 台なんと約 1,600 万円でした。その携帯が、半年に 1 台ぐらい売れるそうです。ここまで、高額になる理由は、1 台 1 台職人が手作りしていること、素材にダイヤモンド・金・プラチナなどがふんだんに使われていること、などのようです。どうも機能的に特筆すべきものは無さそうです(コンシェルジュサービスがあるそうですが)。

VERTU の店舗は、シンガポールはもちろん、バンコク、ジャカルタ、ホーチミン、プノンペンなどアジアの各地の主要都市にあります。日本にも一時期出店していたようですが、2011 年に撤退したそうです。

2. 自動車

アジア各都市には、日本ではあまり見かけないような高級車を見かけます。シンガポールではもちろん、カンボジアやベトナムのような、経済指標上は貧しいと部類される国であっても、そこかしこで見かけます。

以下の写真(左側)は、カンボジアの警察車両です。車種はレクサス LX です。値段は車両本体価格だけで 1,000 万円ぐらいでしょうか。日本では滅多に見ることはいないクルマです。警察車両には、レクサス LX の他にもレンジローバーなどが採用されています。カンボジアの一人当たり GDP は 852USドルで、最貧国に分類されています。プノンペンでは、オートバイの普及もまだまだ、トゥクトゥク(写真右側)が、観光用というよりも公共交通機関として活躍しているような状況です。

¹ 各国 GDP 数値はいずれも名目。ジェトロ資料「東アジア各国・地域の経済力比較(2011 年)」より。



レクサス LX 2012年11月
ブノンペンにて筆者撮影



トゥクトゥク 2012年7月ブノンペンにて筆者撮影

3. マンション



ハミルトン スコッツ インターネット画像を転載

左の画像は、スーパーカーのショールームではありません。高層マンションの室内の画像です。これは、シンガポールのハミルトン スコッツというマンションの画像です。

自動車が入っているのは、自動車専用のエレベーターが、部屋の中の駐車場まで、クルマを運んでくれる仕組みになっているからです。手の込んだ立体駐車場というイメージです。

ネットの広告(Property Guru.com.sg)によれば、約78坪の部屋で、分譲価格は約6億7,000万円(坪当

り約860万円)、賃貸の場合の賃料は約134万円です。

以上はほんの一例です。もちろん、ベンツやBMWなどの高級車が当たり前のように走っています。この他にも時計や鞆などの持ち物までチェックするとキリがなさそうです。

所得水準が低い多くの国における超高額消費の中心的な担い手は、政治家・役人のようです。つまり、これらの国での超高額消費は、利権・賄賂・腐敗の象徴という見方も出来ます。日本はとてもクリーンな国だとも感じさせられます。